

2019 Kart Fase 詳細ルール(ブリーフィング資料)

2019年4月30日作成

【4stレンタルカートタイムトライアル】

■走行、その他について

- 使用車両は4stカートを使用し、1回あたり5分間走行とします。
- カート使用台数はMAX5台としますが、参加人数により変わります。
 - ・6人以下→2台
 - ・7~9人→3台
 - ・10~12人→4台
 - ・13~15人→5台(MAX)
- 朝の受付順に走行が開始され、一度走行(5分)が終了してから次の走行の予約ができるものとしますので順番待ちが発生します。
- 受付時、各自にトランスポンダー(計測器)をお渡ししますので、カートに乗車する際に必ず各自でトランスポンダーホルダーに装着お願いします。走行が終了したら必ず外して下さい。尚、付け忘れて走行した場合、計測は出来ませんので注意してください。また、**外したトランスポンダーは持ち歩かずに指定の場所に戻して下さい。(ホームストレート及びピットロードの計測ライン付近に近づくことによる誤計測防止の為です。)**
- 最初のカート台数分人数以外はカートの指定は不可とし、ピットに戻って来た順に次の走行者が乗車するものとします。(カートを指定方式にしないのは、そのカートがトラブルで走行できない場合に、そのカートの順番を待っている人が、しばらく乗車できなくなることを防ぐ為です。)但し、体格などにより乗車できるカートが限定される方は、そのカートが戻って来るまで後続の方を先に乗車させ、お待ち下さい。
- 走行時間は、ハンドルに付いたタイマー(時計)で各自の走行時間(5分)を管理しますので、乗車したらタイマーのスタートボタンを押してからスタートしてください。
- タイマーが5分経過したことを確認したらピットに戻ってきて下さい。(実際は5分以上走行することになります。)
- コースに出てから車両にトラブルが発生し、以降走行ができない場合は、そのアタックは終了となります。次の走行受付をして下さい。
- コース上には他のマイカートなど速い車両が走行しているので、走行には十分注意して(特に抜かれる時)下さい。
- 車両トラブルにて走行が出来なかつたり、メンテナンス等により走行出来ない時間が発生する場合がありますがご了承願います。
- 車両事情により極端に走行時間が少なかった場合は、時間を延長する場合があります。

■順位の付け方について

- 順位の付け方はベストタイムの速い順としますが、同タイムの場合は先に出した方が上位とします。

【ジムカーナ】

■走行、その他について

- 当日発表のパイロン設置コース図を基にミーティングを行います。

- ・ペナルティの説明

- 1,パイロンタッチ…1つのパイロンごとに3秒加算

- パイロンタッチの定義は指定のラインで走行しタッチ(目視で動いたと確認されたもの)した場合で、指定ライン以外でのタッチ(例えば360度ターンのところをターン途中で接触し、その後ターンを完了しないで角度不足のまま、走行を続けた場合など)はミスコースと見なします。

- 2,脱輪…片側タイヤ脱輪は3秒加算、両側タイヤ脱輪は失格とします。

- 脱輪の定義はアスファルト舗装以外(縁石はOK)に少しでもはみ出た場合

- 片側タイヤとは、カートの片側2本のことで、その内1本以上が脱輪した場合に適用される。(例:右側1本か2本がはみ出た場合など)

- 両側タイヤとは、左右4本の内、左側1本以上と右側1本以上が脱輪した場合に適用される。(例:右側2本と左側1本がはみ出たら場合など)

- 3,ミスコース…失格とします。

- ミスコースの定義は指定のコースラインから目視で約10M以上離れた場合

- (10M以内で間違いに気づき戻った場合などはOKです)

- コースを慣熟歩行(約10分間)します。

- 1人3回に分けてタイムアタックをします。

- 1回目のスタート順をくじで決めます。

- Aカート、Bカート2台のカートを使用し、順番に交互に走行します。

- 2回目は、1回目と逆順で、1回目とは違うカートで走行します。

- 3回目は、2回の内のベストタイムの遅い順からスタートします。

- 受付時、各自にトランスポンダー(計測器)をお渡しますので、カートに乗車する際に必ず各自でトランスポンダーホルダーに装着お願いします。走行が終了したら必ず外して下さい。尚、付け忘れて走行した場合、計測は出来ませんのでお願いします。又、**外したトランスポンダーは持ち歩かずに指定の場所に戻して下さい。それに、トランスポンダーを持ったままホームストレートとピットロードを含む計測ライン付近(5M以内)には入らないようにして下さい。**

- 車両トラブルにて途中から走行が出来なかった場合は、スペア車両に切り替えて走行を続けますが、走行を終了された方はそのタイムが有効となります。また、その逆にスペア車両で走行される方もそのタイムが有効となります。

■順位の付け方について

- 3回の内で一番速いタイムを採用し、ベストタイムの速い順としますが同タイムの方が居た場合は、1回目走行のタイムが速い方で先に出した方を上位とします。

【チーム対抗 60 分耐久レース】

■レース内容、ピットストップハンディ、その他について

●練習走行

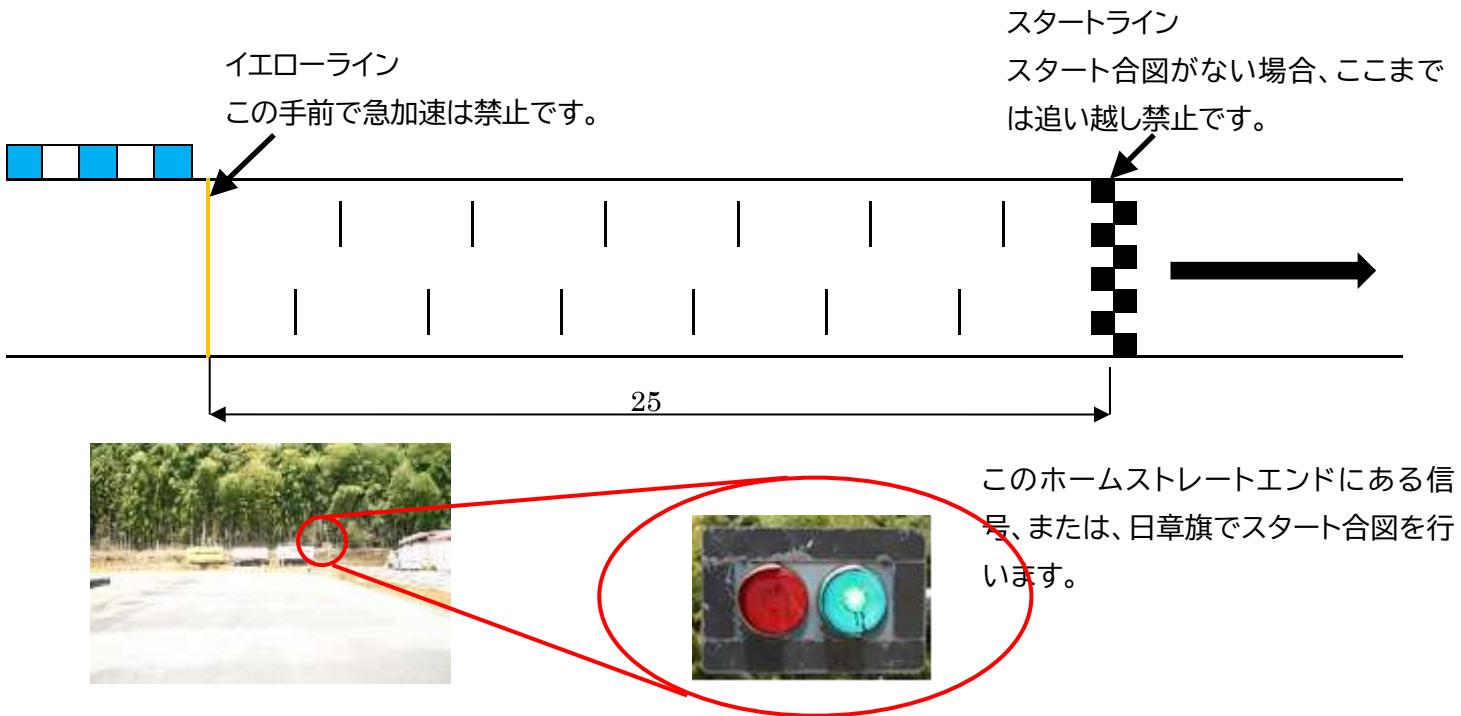
- ・15 分間の練習走行時間を設けますので、各チームで使用する車両のチェックをお願いします。
- ・1 チームで複数台使用するチームは、トランスポンダーを積み替えて、1 台ごと走行してください。
- ・ここでのタイムはレースには採用されません。(車両とトランスポンダーのチェックのみ行います。)

●スタート順の決定

- ・各チーム代表者のじゃんけんでスタート順位を決定します。
- じゃんけんで 1 番先に勝った方がポールポジション、以降 2nd, 3rd, …

●決勝ヒート

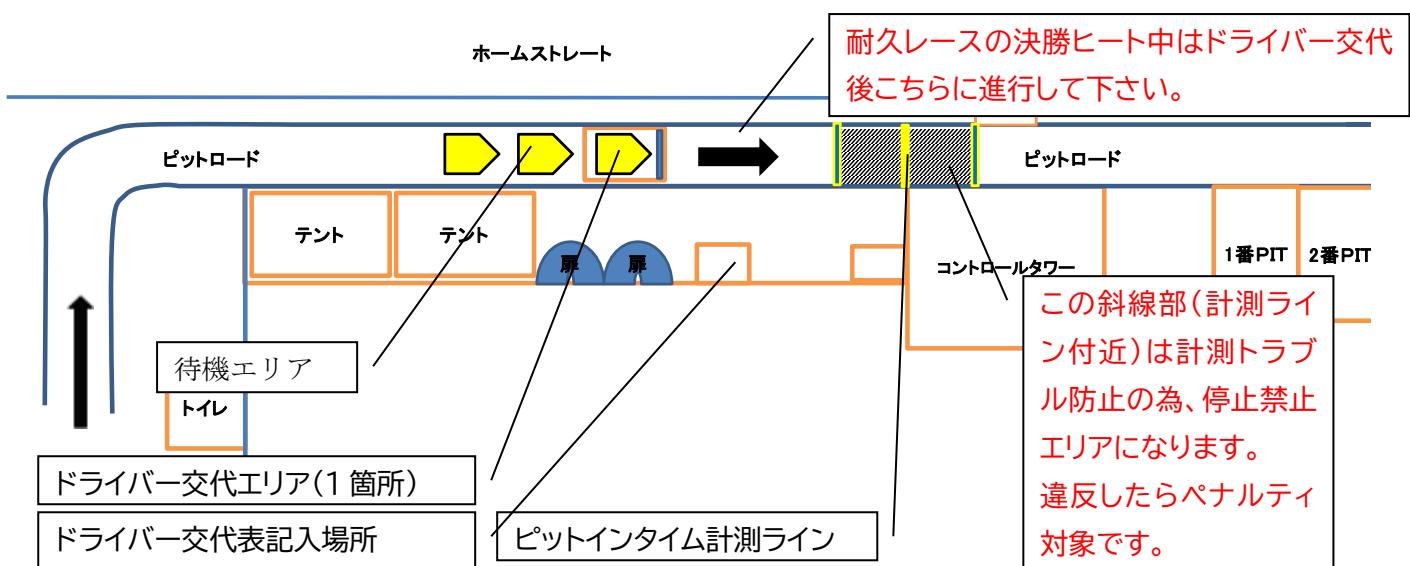
- ・レース時間は **60 分**です。
- ・レース中の**給油**ですが、タンク容量等の問題で必要な場合のみ、**オフィシャル立ち合いのもとで行う場合のみ**許可します。但し、こちらで指定した場所以外の給油は禁止します。
- ・スタート方式はローリング方式になります。
 - 1) スタートドライバーはピットアウト後 1 周し、コース上スターディンググリッドに車両を止めて下さい。
 - 2) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、セル付きエンジン→押し掛けの順でエンジンを始動し、ローリング開始となります。
 - 3) ローリングに遅れた場合、隊列復帰ライン(ADVANの看板)までであれば、自分のポジションに戻れるものとします。ただし、トラブルなどで隊列から大きく遅れてしまい、白地に赤×印ボードが出された場合、隊列の最後尾に着かなければなりません。
 - 4) ローリング中に停止した場合は、全車が通過するまでは再スタートしてはいけません。再スタート後、隊列の最後尾に着き、自分のグリッドには戻れません。
 - 5) スタートラインから 25m 手前に引いてあるイエローラインを自分のカートが通過するまでは、急加速を禁止します。また、スタートライン中央にパイロンが設置してある場合は、グリッド奇数列が内側、グリッド偶数列が外側を通過し、パイロンに接触してはなりません。接触した場合はペナルティ対象です。
 - 6) ローリング開始後、赤信号が点灯され、隊列が整い次第、赤信号を消灯し、スタートとなります。ローリングを更に 1 周行う場合は、メインポストオフィシャルにより、もう1周の合図(人差し指を挙げて提示又はミススタート旗(緑に黄色の山形))が出され赤信号は点灯されたままになります。
この時ドライバーは、片手を上げ、もう1周の合図を後方ドライバーに提示し、再スタートの合図ができるまでグリッドポジションの変更や追い越しは禁止となります。
尚、信号機(シグナル)が故障した場合などは、日章旗によるスタート合図を行います。
 - 7) スタートラインから 25m 手前にあるイエローラインを過ぎてから、スタートの合図が出ていれば、スタートライン手前でもカートに並ぶことや追い越しは可能とします。但し、スタート合図が出ていない場合の追い越しはペナルティの対象となります。
- 8) 規定周回数終了時のトップからチェックカーが振られレース終了となります。



●ドライバー交代方法など

- 1) ドライバー交代回数は、全チーム最低5回義務とし、1ストップあたりのピットストップ時間は、RK4クラス(GX200など)車両のみ使用のチームは“0秒”(ハンディなし)、それ以外の車両を使用するチームはピットストップ時間を設けます。尚、出走車両クラスが全チーム同じになった場合は、ピットストップ回数はそのまで、1ストップあたりのピットストップハンディ(停止時間)は設けません。※チームごとの車両台数、エンジン種類(クラス)、男・女などによりピットストップハンディが変わる為、ハンディ等は当日発表します。)
- 2) コントロールタワー南側のピットロード上タイム計測ライン手前に交代エリアを1箇所設けます。
- 3) ドライバー交代エリアは車両1台分しかない為、1台ずつの交代になります。(ここ以外の交代は認めません)複数台使用のチームは、次のドライバーの車両を交代エリアの横に置いてお待ちください。
- 4) ドライバー交代のタイミングでピットINして、既に交代エリアに車両が居た場合は、その手前で待機して下さい。その後の車両移動は、乗ったままか、手押しとします。(手押しの場合エンジンSTOP厳守です。)
- 5) 交代エリアに入ったドライバー(走行が終わったドライバー)は、エンジンを停止させ降車し、速やかに交代記録表に名前(苗字)を記入して下さい。(この時、名前の記入を忘れた場合は、ドライバー交換無しと見なします。)又、交代エリアに入った時点でピットストップ時間の計測を始めます。(計測方法等の詳細は、当日のブリーフィングで発表します。)車両を複数台使用のチームは、トランスポンダーを積み替えてください。
- 6) ピットストップハンディ消化後、スタートOKの合図があったら次のドライバーは、速やかにエンジンスタートして交代エリアから退出して下さい。(リコイルスタート及び押し掛けの場合は1人まではサポート可とします。)車両を複数台使用のチームは、次のドライバーが交代エリアから退出したら、走行終了した車両を速やかにその場から移動してください。
- 7) 1人で参加の方は、一度車両から降りて、交代記録表に名前(苗字)を記入し、ピットストップハンディ消化後に再度車両に乗車してスタートしたことにより、ドライバーを交代したとみなします。
- 8) エンジンが交代エリアで掛からない場合は、速やかに安全な場所に車両を移動して下さい。
- 9) 下図のピットロードタイム計測ライン付近(斜線部)は計測トラブル防止の為、停止禁止エリアとなります。違反した場合はペナルティの対象となります。
- 10) ピットロードは全区間徐行となります。

(注意)耐久レースの決勝ヒート中は、下図の様な車両移動経路になります。



(アドバイス)ドライバー交代エリアが 1 つしかないのに、ピットストップのタイミングを間違えると、かなりのピットロス(待ち時間)が発生します。簡単に言うと、タイムが速いだけでは優勝できません。順位を上げるにはピット戦略が重要です。チームワークの良し悪しが勝敗を決めるレースになります。

●ドライバーの乗車時間制限について

1)違うクラスのカート(エンジン)を複数台使用するチームの場合

・速いエンジンで走行している方は、遅いエンジンで走行している方よりも走行時間が多くすることはできません。(チームごとに時間管理をお願いします。)

例えば、RK4 クラス 1 名、GT2 クラス 1 名のチームの場合は、GT2 クラスの方は、RK4 クラスの方よりも多くの時間の走行はできません。(各自のトータル走行時間となります)

注意 1)走行時間とは、スタートドライバーがコントロールラインを通過した時、又は、交代をした次のドライバーがピットロードの計測ラインを通過してから次のドライバーが、ピットロードの計測ラインを通過した時間とします。(ピットロードの通過時間で管理します。)なので、次のドライバーのピットストップ時間も自分の走行時間となりますので、十分注意してください。

2)同じクラスのカート(エンジン)を複数台、又は、1 台で使用するチームの場合

・各自の走行時間の制限はありません。

■順位の付け方について

●順位の付け方は、決勝ヒートのゴール順で、次の順序により周回数の多い順で決定されます。

1)完走者(チェックマークを受けたドライバー)

2)完走者(チェックマークを受けていないドライバー)

3)周回数に基づく未完走者

4)失格者

※完走扱いとは、チェックマーク旗とは関係なく、規定周回数の 1/2 周回(50%以上)を完了している事となります。

※この他の詳細ルールについては、2019 IMP Kart Race の規則書(耐久クラス)に準じます。

【エキシビションレース(スプリント)】

■レース内容、その他について

●基本的に 2019 IMP Kart Race のエキシビション規則書に準じて行いますが、当日の参加者や車両コンディションにより、ハンディ等を変更して行う場合があります。